

運営

仕事と生活の両立を図りながら活躍するドクターを応援します！

長崎県・長崎県医師会・長崎大学病院・連携機関と協働した「あじさいプロジェクト」の取り組み



長崎大学病院

2012年4月に長崎県の委託をうけて長崎大学病院に設置された「メディカル・ワークライフバランスセンター（以下センターという）」では、長崎県内の医師と、長崎大学病院内の医療従事者が「働きやすさ」と「働きがい」を感じて医療に取り組める環境整備を行っている。

ライフイベントを迎えて就労維持に悩む医師への支援策や学生キャリア講習を行い次世代の育成にも力を入れている。

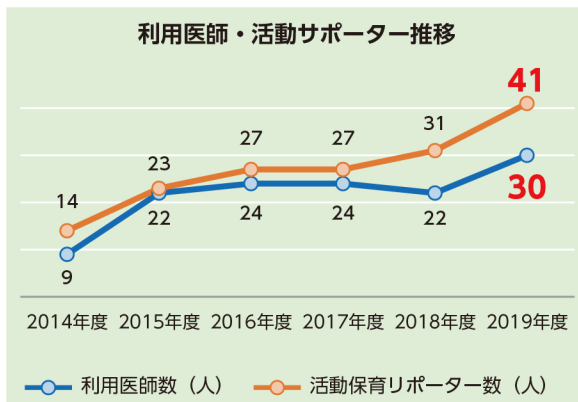
細やかな対応で医師家族を支援する「長崎医師保育サポートシステム」

2014年より長崎県・長崎県医師会・長崎大学病院が協働して運営。全国で山口・群馬に続く3例目として長崎大学病院をモデルケースにスタート。2018年に運営主体と事務局を長崎県医師会から長崎大学病院へ移管した。

県内の子育て中の医師（男女にかかわらず）が「仕事と育児の両立」を図れるように、育児支援を必要とする医師と援助ができる一般市民の保育サポーターを、センターのコーディネーターがマッチングして紹介する。

最大の強みは、病児（軽症）の見守りや病児保育施設への送迎・家事支援（掃除・洗濯・食事）・固定の保育サポーターが担当する点など。

利用医師は増加傾向で、定着してきている。



困ったとき、頑張りたいときに、長崎医師保育サポートシステムを利用してみませんか？

- 利用医師の声**
 - 資格試験の勉強ができた！
 - 学会・勉強会に参加して診療に役立つ！
 - 論文の準備ができた！
 - 夫業ともに海外赴任で難关先がなく、妻が帰国して育児に専らなれた！
- サポート内容事例**
 - 保育施設への送迎
 - 家内支援
 - 病児のときの見守り
- 利用医師が保育サポーターに支払う報酬**
 - 月給：1,200円
 - 専任：1,200円
 - 専任：1,500円
- 対象地域**
 - 長崎・長崎県

TEL: 095-819-7979 | URL: http://nagasaki-ajisai.jp

～システムを利用した医師の声～ 遠方での学会出張も可能に！

第一子出産後は宿泊のある出張は年に1回程度で、預け先は県外の私の実家でした。第二子出産後は日帰り出張はありましたが、初めて宿泊のある学会への参加が決定…開催場所が遠方のため、実家までの移動も大変でしたので、子どもと夫は留守番をしてもらうことに。しかし、夫の医局行事とも重なったため、「長崎医師保育サポートシステム」を利用しました。保育サポーターさんに自宅で子どもをみてもらえ、無事に学会発表、参加ができました。夫も多忙であり、両実家とも遠方なので、頼り先が増えると本当に助かります。

また、出張前は「イブニングシッター」*の利用で学会予行に参加することができました。

*イブニングシッターは、長崎大学病院教職員が対象で利用は無料。夕方～夜間に院内で開催されるセミナーや勉強会などへ参加する際の託児手をセンターが行っている。

もっと詳しく ▶ 長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター <http://nagasaki-ajisai.jp>